

■「第2期 薩摩川内市スポーツ推進計画（素案）」（概要版）

第3次総合計画の施策「スポーツ」と整合を図った内容としている。

1 計画の概要

(1) 計画期間

令和8年度（2026年度）～令和17年度（2035年度）の10年間

(2) 基本理念（目指す姿）

市民が気軽にスポーツを楽しむ環境が整い、日常的にスポーツを行っている

(3) 追加項目

ア 第1期計画の振り返り

イ 国体や東京オリンピック事前キャンプ等のレガシーの継承、活用

ウ SDGsとの関連

2 現状と課題

(1) 市民のスポーツ活動

ア 健康意識は高まっている（83.9%が「健康」と回答）

イ 運動実施率は62.6%、週1回以上が67.9%

ウ 忙しさや機会の不足が運動しない主な理由

(2) 子ども・高齢者・障害者のスポーツ活動

ア 子ども：運動時間の二極化、学校部活動の地域展開が進行中

イ 高齢者：高齢者クラブ活動や介護予防教室が活発

ウ 障害者：障害者スポーツ施設を中心とした活動への参加を促進

(3) 地域のスポーツ

ア スポーツ教室やイベントの充実による運動習慣の定着

イ スポーツ少年団や地域スポーツクラブの会員数減少

(4) 競技スポーツ

ア 少子高齢化に伴う競技スポーツ人口の減少

イ 指導者の育成及び指導体制の確立

ウ スポーツ合宿による競技スポーツの普及・発展

(5) スポーツ施設の状況

ア 多様な施設が整備されているが、老朽化が進行

イ 利用者数はコロナ禍前と同水準にまで回復（令和6年度：616,861人）

3 基本方針と施策

(1) 基本方針1 交流人口の拡大と地域の活性化

ア 目標：スポーツ合宿誘致やイベントを通じて交流人口を拡大し、地域を活性化する。

指標	現状（令和6年度）	目標（令和11年度）
スポーツ合宿団体数	83 団体	100 団体

イ 主な施策

- ・ スポーツツーリズムの推進
- ・ スポーツ合宿、イベントの誘致
- ・ スポーツボランティアの育成

(2) 基本方針 2 生涯スポーツの環境づくり

ア 目標：市民がライフステージに応じて、いつでも・どこでも・だれでもスポーツに親しめる環境を整備する。

指標	現状（令和 6 年度）	目標（令和 11 年度）
総合型地域スポーツクラブ会員数	1,055 人	1,200 人

イ 主な施策

- ・ スポーツイベント、教室の開催
- ・ ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- ・ 地域スポーツ団体やスポーツ推進委員との連携

(3) 基本方針 3 競技スポーツの振興

ア 目標：競技人口の拡大と競技力の向上を図る。

指標	現状（令和 6 年度）	目標（令和 11 年度）
九州・全国大会等出場件数	167 件	180 件

イ 主な施策

- ・ 競技指導者の養成
- ・ 全国大会等出場者への支援
- ・ 国体や東京オリンピック事前キャンプ等のレガシー活用

(4) 基本方針 4 スポーツ環境の充実

ア 目標：スポーツ施設の整備・利用促進により、スポーツ活動の基盤を強化する。

指標	現状（令和 6 年度）	目標（令和 11 年度）
スポーツ施設年間利用者数	616,861 人	700,000 人

イ 主な施策

- ・ スポーツ施設の維持管理、整備
- ・ スポーツ施設の利用促進

4 推進体制と進行管理

- (1) 関係部局・地域・学校・団体との連携
- (2) PDCAサイクルによる進捗管理
- (3) 中間年（令和 12 年度）に計画の見直し